

玄関框・付框

■ 施工のポイント

施工上のご注意

- この商品は、一般内装(住宅)用の商品です。屋外及び重歩行(土足)用、業務用として使用される居室にはご使用になれません。また、屋内でも洗面室やトイレ等、水回りにはご使用になれません。
- 下地が濡れてないことをご確認ください。
 - ・下地が濡れていると施工後、変色、カビの発生、腐れ、スキ、反りなどが発生する事がありますので、下地の含水率が確実に14%以下になってから施工してください。
- モルタル、コンクリートなど湿気の溜まりやすい下地への直接の取り付けは避けてください。
 - ・湿気により変色、カビの発生、腐れ、スキ、反りなどが発生する事があります。モルタル、コンクリートなどの水分が上がってこないようにシーリングするなど縁を切って施工してください。
- 土間のタイルの立ち上がり面は、框や付框の前面より5mm以上奥に控えた位置になるように施工してください。
 - ・モルタル、コンクリートなどの水分や下地の湿気により、変色、カビの発生、腐れ、スキ、反りなどが発生する事があります。
- 下地に十分な強度があることをご確認ください。必要に応じて下地補強を行ってください。建築物との兼ね合いがありますので、現場監督・建築士など有資格者様に相談の上、仕様を決定してください。
- フロアと框のつぎ合わせ部の段差は、框の方が0～0.5mm高くなるよう施工してください。
- 床下の換気を十分に行えるように換気口を設けてください。湿気により変色、カビの発生、腐れ、スキ、反りなどが発生する事があります。

施工の手順

建築物との兼ね合いがありますので、必ず現場監督・建築士など有資格者様に相談の上、仕様を決定してください。
(下記は参考例です。)

〈玄関框〉

1. 必要な長さに合わせてカット、切り欠き等の加工をしてください。
2. 框を背面から土台および根太にビスおよびウレタン系接着剤で固定してください。

※モルタル、コンクリートなどの水分が上がってこないように図のようにシーリングなどでモルタルなどと縁を切って施工してください。
湿気により変色、カビの発生、腐れ、スキ、反りなどが発生する事があります。
※タイル立ち上がり面は框前面より5mm以上奥に控えた位置になるように施工してください。

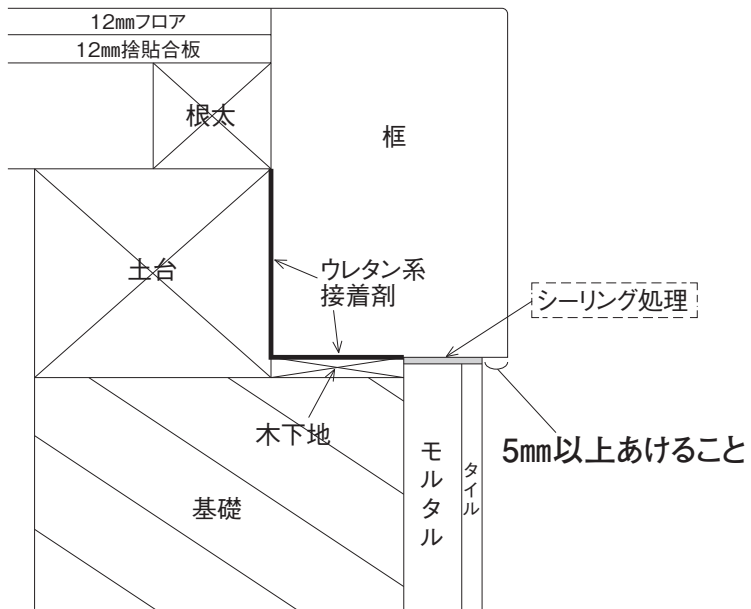
〈付框〉

1. 必要な長さに合わせてカット、切り欠き等の加工をしてください。
2. 付框の天場と底面の壁厚内に隠れる部分にくぎ打ちし、接着剤を併用して、間柱などの下地に固定してください。

※付框についても、モルタル、コンクリートなどの水分が上がってくるような納まりの場合は、
玄関框同様、シーリングなどでモルタルなどと縁を切って施工してください。

■ 納まり図例

〈玄関框〉



〈付框〉

